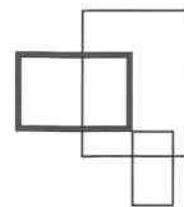




Matsuyama
Business
College

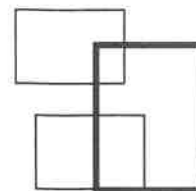
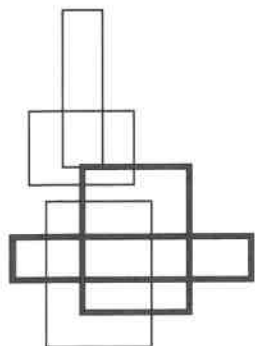


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科

2024 年度

シラバス



ファッションデザイナーコース 3年

名前

※一年間、各自保管すること

令和6年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションデザイナーコース

必修 / 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションデザイナー コース3年			
					前期	後期	単位	
必修	学科 共通	服飾造形Ⅴ	実習	大野幸	240		8	
		服飾造形Ⅵ	実習	大野幸		210	7	
		卒業研究	実習	大野幸		150	5	
	コース	プロジェクト演習Ⅱ	実習	大野幸	90		3	
		クリエイションデザインⅣ	実習	友廣	60		2	
		クリエイションデザインⅤ	実習	友廣		60	2	
						390	420	27
	必修科目 合計					810		
	年間合計時間/単位数					810		27

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	服飾造形V			時間数 (コマ数)	240 (120)	単位数	8
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 3年		
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	年間計画 Fショーについて(1コマ)	年間計画・学園祭ファッションショーのテーマ設定					
2～11	Fショー作品制作(50コマ) 学園祭 7月	型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け					
12～49		裁断・縫製					
50～51		スタイリング、撮影					
52～57		型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け					
58～79	自由制作(30コマ)	裁断・縫製					
80～81		スタイリング、撮影					
82～87		型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け					
88～118	ジャケット(30コマ) マニピュレーション	裁断・縫製					
119～120		スタイリング、撮影					
使用テキスト 教材・教具	『ドレメニューパターンブック No 6』、シーチング、布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅵ			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 3年		
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	パンフレット作品(40コマ)		型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
11～38			裁断・縫製				
39～40			スタイリング、撮影				
41～50	オートクチュール作品(40 コマ)		型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
51～78			裁断・縫製				
79～80			スタイリング、撮影				
81～84	自由制作(25コマ)		型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
85～104			裁断・縫製				
105			スタイリング、撮影				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	卒業研究			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 3年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創り、作品集とポートフォリオに残す。						
学習到達 目標	松山コレクションで作品発表。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多 種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	卒業制作(3体)						デザイン考案
3～10	〃						パターン、仮縫い準備、審査会
11～73	〃						修正、本縫い、仕上げ
74～75	〃						まとめ、スタイリング
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	プロジェクト演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイナーコース 3年		
授業科目の テーマと目的	クライアントの求める企画に沿ったデザインの提案と制作。						
学習到達 目標	アイドル衣装の制作。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	デザイン						デザイン考案とプレゼン準備
6～10	トワル組み						パターン作成と仮縫い準備
11～41	衣装制作						衣装の制作
42～44	フィッティング						フィッティングによるサイズ確認
45	仕上げ						仕上げ
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン提案30%、縫製技術50%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	クリエイションデザインⅣ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	友廣 麻紀			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイナーコース 3年		
授業科目の テーマと目的	インスピレーションの方法・イメージ表現・デザイン方法を習得する。						
学習到達 目標	クリエイティブなデザイン表現ができるようになるため繊維・シェイプ・ムードボードなどを作成できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの実務経験を活かして学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	デザイン論	自己紹介からファッションデザインを紐解く					
3～4	デザイン論	デザインフィソロフィー(ファッションデザインとはデザイナーとは何か)					
5～6	デザイン論	アートとファッションデザインとの違い					
7～8	デザイン論	オズボーンの法則(9種)からファッションデザインインスピレーション					
9～10	デザイン論	クロスリファレンス(相互参照)・シェイプ・構造					
11～12	デザイン論	ファブリックリサーチ・ムードボード					
13～14	デザイン論	コンテストBOOK					
15～16	デザイン論	リサーチとは何か・目的・対象					
17～18	デザイン論	リサーチとは何か(色・テクスチャ・模様・装飾)					
19～20	デザイン論	リサーチとは何か(アート・文化・歴史)					
21～22	デザイン論	トレンド					
23～24	デザイン論	カラーバランス					
25～26	デザイン論	リサーチ分析(レイアウトと構成)					
27～28	デザイン論のまとめ	コンテスト					
29～30	まとめ	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	PC、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、クリアファイル						
参考図書 参考文献	『生地 of 辞典』株式会社みずしま加工 『テキスタイル用語辞典』						
成績評価の 方法・基準	発想力30%、企画力40%、デザイン力30%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自A4ノートを準備すること。 ※コンテスト募集に対応(随時)						

授業科目	クリエイションデザインV			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	友廣 麻紀			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイナーコース 3年		
授業科目の テーマと目的	インスピレーションの方法・イメージ表現・デザイン方法を習得する。						
学習到達 目標	クリエイティブなデザイン表現ができるようになるため繊維・シェイプ・ムードボードなどを作成できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの実務経験を活かして学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	デザイン論	立体表現からのリサーチ					
3～4	デザイン論	繊維と生地の特徴					
5～6	デザイン論	リメイク					
7～8	デザイン論	リサーチからのデザイン					
9～10	デザイン論	デザインを発展させる要素					
11～12	デザイン論	個々のデザインを突き詰める					
13～14	デザイン論	コレクションに向けたアイデア選択と編集(BOOKへ)					
15～16	デザイン論	コンテスト					
17～18	デザイン論	アイデアを伝える方法					
19～20	デザイン論	アイデアを伝える方法					
21～22	デザイン論	アイデアを伝える方法					
23～24	デザイン論	アイデアを伝える方法					
25～26	デザイン論	プレゼン					
27～28	デザイン論のまとめ	プレゼン					
29～30	まとめ	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	PC、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、クリアファイル						
参考図書 参考文献	『生地の辞典』株式会社みずしま加工 『テキスタイル用語辞典』						
成績評価の 方法・基準	発想力25%、企画力20%、デザイン力25%、プレゼン力30%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自A4ノートを準備すること。 ※コンテスト募集に対応(随時)						